

事業評価シート

番号 1640030 _ 001

【1.基本情報】

事業名	景観まちづくり活動支援事業[活動支援]				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社	
実施期間	平成15年度～	年度	根拠法令 関連計画※	景観法、岐阜市景観条例、景観計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜らしさあふれる、賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民、企業、行政が協働して個性豊かなまちづくりを行い、住民主体の景観まちづくり活動の支援を行う				
事業の内容	景観まちづくり活動の支援等に関する事。				
事業の対象	何を	景観まちづくり活動支援			
	誰に (対象者・対象者数)	景観形成市民団体、市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	30回			
令和元年度 (実施内容)	アドバイザー派遣、景観まちづくりの情報収集・提供・啓発及び相談、景観形成市民団体支援、旧加納町役場跡地施設活用検討委員会支援				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	6,752	213	5,357	169	3,978	117
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	6,752	213	5,357	169	3,978	117

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		15,360	15,462	13,918
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	活動支援	15,360	15,462	13,918
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		15,360	15,462	13,918

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	22,112	20,819	17,896

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	22,112	20,819	17,896

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	景観形成市民団体	景観形成市民団体	景観形成市民団体
受益者数	6	6	6
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,685,350	3,469,883	2,982,667

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	活動支援件数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	30	30	30
実績値	35	34	33

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	視察受け入れ回数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	1

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	景観形成市民団体などの住民と協働し、岐阜らしい景観形成を推進することからニーズに合っている。 住民主体の景観まちづくり活動の支援であることから、市が行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民参画による景観まちづくりを支援していくためには有効である。 岐阜らしい賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民や企業の協力を得る必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	景観形成に取り組むことにより、住民の意識向上、良好な景観整備が行われている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	景観形成への取り組みが、積極的な景観形成市民団体ほど活動支援割合は大きい。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	良好な景観を維持していくためには、継続的な支援が必要である。

事業評価シート

番号 1640030 002

【1.基本情報】

事業名	景観まちづくり活動支援事業[ファンド]				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	(一財)岐阜市にぎわいまち公社	
実施期間	平成15年度～	年度	根拠法令 関連計画※	景観法、岐阜市景観条例、景観計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜らしさあふれる、賑わいのあるまちなみ空間の創造や自然と調和し、歴史・文化資源を生かしたまちなみを保全、継承するために市民、企業、行政が協働して個性豊かなまちづくりを行い、住民主体の景観まちづくり活動の支援を行う				
事業の内容	ぎふ景観まちづくりファンドに関すること。 (歴史的建築物やまちなみを守るために実施される工事の助成制度)				
事業の対象	何を	歴史的建築物等の保全に対するファンド助成金、景観重要建築物等の保全に対する助成金			
	誰に (対象者・対象者数)	金華地区、鶯飼屋地区、中山道沿道区域の歴史的建築物等所有者及び景観重要建築物所有者(20棟)、都市景観重要建築物所有者(9件)			
	どのくらい (具体的数値で)	岐阜景観まちづくりファンドは、補助限度額最大300万円、かつ、外観の保存工事に要する経費の1/2 景観重要建築物は、補助限度額600万円、かつ景観重要造物の外観等の保存工事に要する経費の1/2 都市景観重要建築物は、補助限度額300万円、かつ景観重要造物の外観の保存工事に要する経費の1/2			
令和元年度 (実施内容)	助成件数12件、助成額12,993,000円				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	5,769	182	4,628	146	3,196	94
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	5,769	182	4,628	146	3,196	94

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	ファンド事業	8,515	9,679	15,791
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		8,515	9,679	15,791

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	14,284	14,307	18,987

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	14,284	14,307	18,987

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	歴史的建築物等所有者	歴史的建築物等所有者	歴史的建築物等所有者
受益者数	8	10	12
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,785,550	1,430,720	1,582,250

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	助成額		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
千円			
目標値	21,000	14,000	17,000
実績値	14,023	15,730	12,993

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	助成件数		単位
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件			
目標値	12	11	12
実績値	8	10	12

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歴史的建築物等を維持していくためには、多大な維持費がかかるため、それらを後世に伝えるためには、支援が必要と考える。 ファンド設立時の条件から、市からにぎわいまち公社へ運用を委託している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	歴史的建築物やまちなみを保全していくには有効である ファンドでは、一般からの寄付も受け付けている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	歴史的建築物やまちなみを保全していくには有効である
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	対象は、積極的に建築物やまちなみなどを保全する区域である景観計画重要区域内と景観重要建造物等として指定されている建築物であるが、まちなみを守ることは、市民全体のシビックプライドの醸成に繋がるため適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	改善 (統合・縮小含む)	基金の残高が僅少になってきたことから、支援の範囲、内容や新たな財源などについて検討を進める必要がある。

事業評価シート

番号 1640030 003

【1.基本情報】

事業名	景観賞		
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード 6 - 1 - 0 - 0
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体 岐阜市
実施期間	平成9 年度～	年度	根拠法令 岐阜市景観条例 関連計画※

【2.事業概要】

事業の目的	魅力ある岐阜市のまちづくりに寄与すること及び市民の都市景観意識の高揚を図ることを目的として、岐阜市景観条例(平成7年岐阜市条例第54号。)第33条の規定に基づき、良好な景観の形成に貢献していると認められる建築物、工作物、広告物その他の物件の所有者、設計者、施工者等、良好な景観の形成に貢献していると認められるまちなみ・風景、まちづくり活動等に係る設計者、施工者、まちづくり活動団体等を表彰する。		
事業の内容	都市景観建築物部門、まち景観建築物部門、まちなみ景観保全部門及び屋外広告物部門に対して、良好な都市景観の形成に貢献していると認められるものを募集し、景観賞選考委員会において審査を行い、景観賞、景観奨励賞を選考し、所有者等を表彰する。		
事業の対象	何を	表彰	
	誰に (対象者・対象者数)	所有者、管理団体、設計者、施工者等	
	どのくらい (具体的数値で)	表彰状と銘板等の贈呈	
令和元年度 (実施内容)	応募総数 99件 景観賞 : 都市景観建築物部門1件、屋外広告物部門1件 景観奨励賞 : 都市景観建築物部門1件、まち景観建築物部門2件、まちなみ景観保全部門1件、屋外広告物部門1件		

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	2,726	86	2,726	86	2,924	86
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	2,726	86	2,726	86	2,924	86

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		1,100	942	909
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	報酬	374	328	355
	冊子印刷	195	188	190
	銘板作成	112	92	93
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		1,100	942	909

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,826	3,668	3,833

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	3,826	3,668	3,833

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	表彰対象建物等の所有者等	表彰対象建物等の所有者等	表彰対象建物等の所有者等
受益者数	7	9	7
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	546,600	407,578	547,571

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	表彰数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	6	6	6
実績値	7	9	7

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	応募総数	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	100	100	100
実績値	117	103	99

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	表彰を行うことによって、市民の良好な景観形成の意識を根付かせることができると考える。 既に国において「都市景観大賞」などが行われているが、市民に近い目線で行うものは、市で行うべきと考える。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	表彰による啓発の効果は高い。 市が表彰することに意義があると考えます。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	良好な景観形成を行うことにより景観賞に選出されれば、啓発効果としては高いと考える。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	景観賞選考委員会により専門的、客観的に審査されている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	良好な景観形成の啓発に寄与する事業であり、継続して取り組む。

事業評価シート

番号 1640030 004

【1.基本情報】

事業名	屋外広告物啓発協力員制度				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成 11 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外広告物啓発協力員要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の協力を活用し、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成する。				
事業の内容	自治会連合会ごとに委嘱した屋外広告物啓発協力員が、地域内をパトロールして違法広告物等を市に報告するとともに、地域において屋外広告物制度の啓発活動を行う。				
事業の対象	何を	地域内のパトロール			
	誰に (対象者・対象者数)	屋外広告物啓発協力員			
	どのくらい (具体的 数値で)	違法広告物等の報告を月1回以上			
令和元年度 (実施内容)	各自治会連合会の屋外広告物啓発協力員50人からの報告を受けて、市職員が違法広告物の是正指導や撤去を行うなど、広告物の適正化を図った。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	951	30	951	30	1,020	30
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	951	30	951	30	1,020	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
		611	604	601
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	謝礼	599	600	596
	食糧費	12	4	5
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		611	604	601

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,562	1,555	1,621

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	1,562	1,555	1,621

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	屋外広告物啓発協力員	屋外広告物啓発協力員	屋外広告物啓発協力員
受益者数	50	50	50
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	31,240	31,100	32,420

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	報告件数	単位	件数
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	600	600	600
実績値	627	634	632

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	除却件数	単位	件数
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	対前年度比マイナス	対前年度比マイナス	対前年度比マイナス
実績値	1,694	780	732

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	①市民の協力を活用し、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成する目的は市民・社会ニーズに合っている。 ②①の目的を達成するため、市民に近い基礎自治体である本市が実施する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	①市民の協力により、市全域から違反広告物等について月1回以上報告をうけられるため効率的に違反広告物の是正・指導ができる。 ②岐阜市域内は本市が実施する必要がある、市民協働で屋外広告物の適正化を図っており非常に効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市民との協働(自治会連合会)により屋外広告物の適正化を図ることができ期待した効果が得られた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市民の協力を活用し、屋外広告物法及び岐阜市屋外広告物条例に規定する良好な景観の形成及び風致の維持並びに公衆に対する危害の防止を達成するための活動のため、費用負担させないことは適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	引き続き、継続して事業に取り組む。

事業評価シート

番号 1640030 _ 005

【1.基本情報】

事業名	落書き消去活動等支援事業				
担当部名	まちづくり推進部	担当課名	開発指導景観課		
未来地図政策	良好な都市空間づくりの推進		政策コード	6 - 1 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市
実施期間	平成25年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市落書き消去活動等支援補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	まちなみの美観を創出し、市民が快適に安心して暮らせる地域社会を実現する				
事業の内容	落書きの消去及び予防活動を実施する市民団体に対して助成を行う				
事業の対象	何を	落書き消去活動等に対する助成			
	誰に (対象者・対象者数)	市民(市内在住・在勤・在学者が過半数を占める5人以上の団体)			
	どのくらい (具体的 数値で)	落書き消去活動等に要した費用の1/2・上限50万円			
令和元年度 (実施内容)	落書き消去活動の実施と助成制度の活用について市HPで周知・啓発を行った。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	32	1	32	1	34	1
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	32	1	32	1	34	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	謝礼	0	0	0
	食糧費	0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	32	32	34

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	32	32	34

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者	落書き消去活動団体等	落書き消去活動団体等	落書き消去活動団体等
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	実施団体	単位	件
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	1	1	1
実績値	0	0	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	助成額	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	50	50	50
実績値	0	0	0

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	実施主体である地域住民の落書き消去活動に対して、市が支援するものでありニーズに合っている。 岐阜市独自の制度であり、本市が実施する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民活動により街並みの美観を創出し、市民が快適に安心して暮らせる地域社会を実現できる。 実施主体である地域住民の落書き消去活動に対して、市が支援するものである。岐阜市独自の制度であり、本市が実施する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	落書き消去活動実施の実績はないが、補助制度を活用して、市民団体が活動することで、まちなみの美観創出の効果が得られる見込みがある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	落書きの消去及び予防活動を実施する市民団体等が活動するに当たり、補助額の範囲内で活動すれば資材等の実費負担が補助される制度であり適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	地域住民の活動を支援するための制度であり、引き続き、継続して事業に取り組む。